

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（小西貞義君） 本市におけるがん予防対策の御質問についてですが、がんはさまざまな原因で引き起こされる怖い病気であります。

御質問にもありましたとおり、がんにかかりやすい生活習慣で、明確な因果関係にあるものの、第1番目は喫煙であります。さらには脂肪の多い食事や塩分の多い食事、ストレスなどが発がんとの因果関係があると言われております。

こうした因果関係については、がんだけではなく、糖尿病、心臓病などの生活習慣病の発症及び重症化に大きくかかわることも明らかであります。

がん予防については、市民一人一人が禁煙や望ましい食生活について、強く意識することが大変重要であり、あらゆる保健事業を通して、早期発見、早期治療の啓発に努めていきたいと考えております。

次に、がん検診受診率向上の御質問についてですが、受診率は御指摘のとおり県平均を下回っております。自覚症状のない方が時間と費用を割いて検診を受けることが難しい現状にあり、「自分は大丈夫」という思い込みもあり、低い受診率になっていると考えております。

市では、市民に身近な公民館での集団検診を実施しているほか、地域の拠点病院である公立松任石川中央病院では、がんの早期発見のためのPET検診や今ほど市長が答弁いたしました最先端の放射線治療装置によるがん治療を行う施設整備が進められておりますので、今後は相互に連携し、早期治療につなげていきたいと考えております。

また、子宮がん、乳がんで死亡する方が若い年代であることから、本市では女性がんについて重点的に取り組んでいるところです。

特に、特定年齢の方への無料クーポン券の発送や乳幼児検診での勧奨のほか、保育所・幼稚園を通じた受診案内などを行っております。

また、受診医療機関につきましては、県内広域的に受診できるよう拡大しており、受診時期につきましても、6月から2月までの長期間としております。

さらに、乳がんの早期発見に関心を持っていただくために、まちかど市民講座にも組み込んでおりますので、積極的な利用をお願いしたいと思います。

がんは、定期的に検診を受ければ早期に発見が可能であり、ひいては医療費の抑制や若い方が命を落とすことによる社会的損失を防ぐことにもつながりますので、今後とも早期発見、早期治療に結びつくよう、公立松任石川中央病院を初め、地域医療機関と協力し、受診率の向上につなげていきたいと考えております。

以上でございます。